

平成29年8月期決算説明会資料

 **日創プロニティ株式会社**

平成29年10月13日
代表取締役社長 石田 徹

目次

| | | |
|---------------------------|-------|----|
| 平成29年8月期決算概況（連結） | | 2 |
| 平成29年8月期決算概況（セグメント） | | 6 |
| 業績見通し（連結） | | 10 |
| 太陽光発電設備の認定、稼動、動向 | | 11 |
| 中期経営計画（平成28年8月期～平成30年8月期） | | 12 |
| M&Aの推進方針 | | 13 |
| 配当方針 | | 14 |
| 補足資料 | | 15 |

平成29年8月期決算概況（連結）

（単位：百万円）

| | 平成28.08期 | 平成29.08期 | | | | | |
|----------|----------|----------|---------|---------|---------|-------|---------|
| | | 計画 | 実績 | 前期比 | | 計画比 | |
| 売上高 | 4,270 | 6,200 | 6,372 | + 2,101 | +49.2% | + 172 | +2.8% |
| 売上総利益 | 1,444 | 1,706 | 1,871 | + 427 | +29.6% | + 165 | +9.7% |
| （売上総利益率） | (33.8%) | (27.5%) | (29.4%) | — | (△4.5P) | — | (+1.9P) |
| 営業利益 | 602 | 747 | 915 | + 313 | +52.1% | + 168 | +22.6% |
| （営業利益率） | (14.1%) | (12.0%) | (14.4%) | — | (+0.3P) | — | (+2.3P) |
| 経常利益 | 614 | 789 | 947 | + 332 | +54.1% | + 158 | +20.0% |
| 当期純利益 | 389 | 522 | 624 | + 235 | +60.5% | + 102 | +19.7% |

平成29年8月期決算概況（連結）

売上高は6,372百万円（前期比49.2%増、計画比2.8%増）

●金属加工事業における大型案件の納入が想定通りに推移したことや前連結会計年度にグループ化した吾孺ゴム工業株式会社及び日創エンジニアリング株式会社の業績が通期にわたって寄与したことにより、売上高は6,372百万円（平成29年4月に子会社化した綾目精機の2カ月分の業績96百万円を含む）。

受注残高は2,712百万円（前期比19.6%減）

●金属加工事業は2,585百万円（前期比21.0%減）、ゴム加工事業は81百万円（前期比37.2%増）、建設事業は45百万円（前期は受注残高なし）となり、合計2,712百万円で前期比19.6%の減少。

営業利益は915百万円（前期比52.1%増、計画比22.6%増）

●金属加工事業において、製造原価が想定以下に抑えられたこと、ゴム加工事業において、業績が通期にわたって寄与したことや利益率が高水準（18%）で推移していることが主な要因となり、営業利益は915百万円。

当期純利益は624百万円（前期比60.5%増、計画比19.7%増）

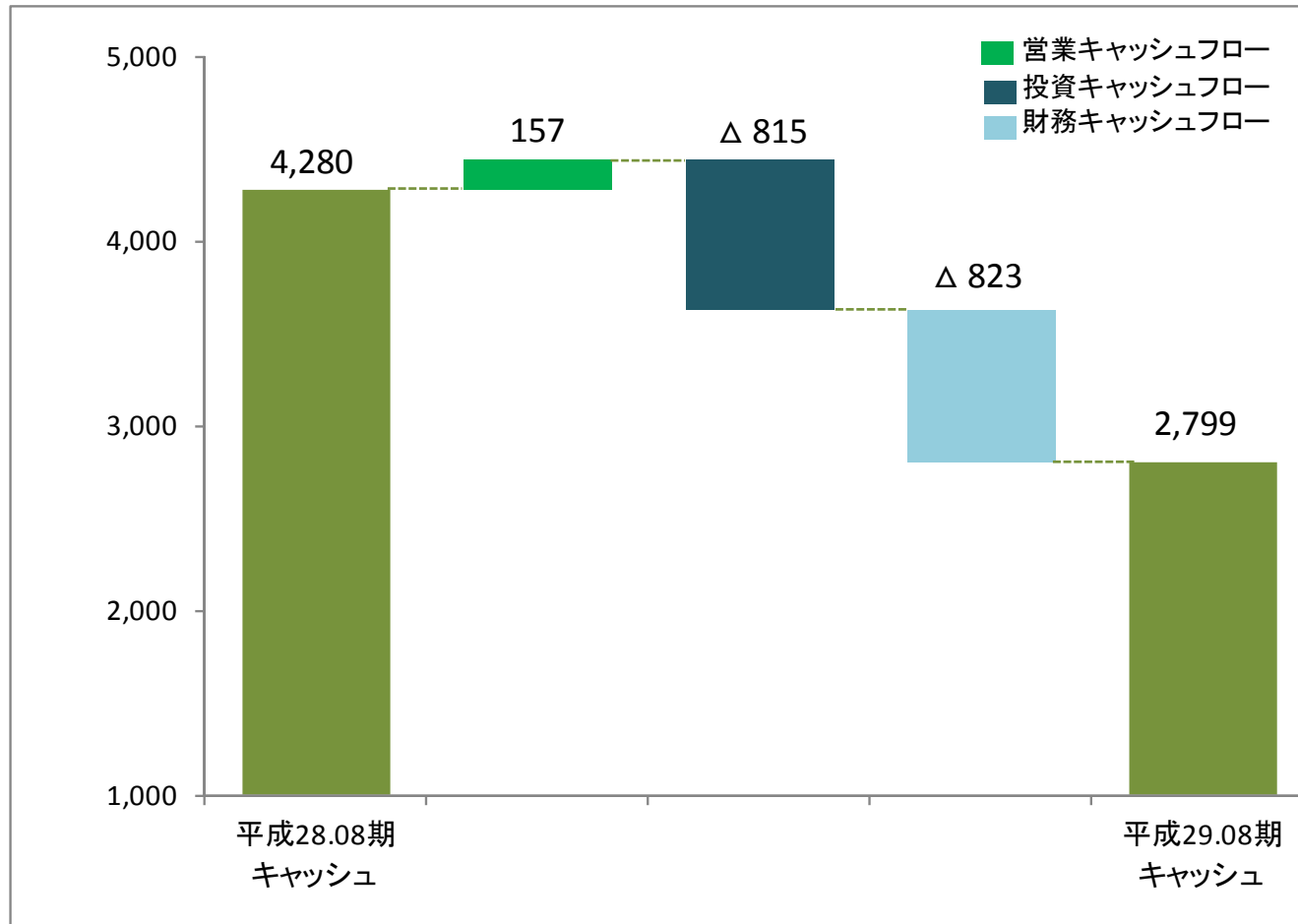
平成29年8月期決算概況（連結）

（単位：百万円）

| | 平成28.08期 | 平成29.08期 | 増減 | 主な増減要因 |
|---------|----------|----------|-------|---|
| 流動資産 | 6,717 | 6,647 | △ 70 | 現金及び預金△1,331M、受取手形及び売掛金151M、電子記録債権772M、商品及び製品130M、仕掛品208M |
| 固定資産 | 2,734 | 3,077 | 342 | 有形固定資産190M |
| 資産合計 | 9,452 | 9,724 | 272 | |
| 流動負債 | 1,104 | 1,346 | 241 | 未払法人税等215M |
| 固定負債 | 939 | 1,111 | 172 | 長期借入金85M、リース債務50M |
| 負債合計 | 2,044 | 2,458 | 413 | |
| 純資産合計 | 7,407 | 7,266 | △ 141 | 利益剰余金410M、自己株式取得△560M |
| 負債純資産合計 | 9,452 | 9,724 | 272 | |
| 自己資本比率 | 78.4% | 74.7% | △3.7P | |

平成29年8月期決算概況（連結）

（単位：百万円）



■ 営業キャッシュフロー157

税金等調整前当期純利益948
減価償却費337
売上債権の増加△812
たな卸資産の増加△346

■ 投資キャッシュフロー△815

子会社株式の取得△407
有形固定資産の取得△324

■ 財務キャッシュフロー△823

長期借入金の借入240
短期借入金純減△100
長期借入金の返済△174
自己株式の取得△560
配当金の支払△213

平成29年8月期決算概況（セグメント）

（単位：百万円）

| | 平成28.08期 | 平成29.08期 | 前期比 | |
|---------|----------|----------|-------|--------|
| | | | 前期比 | 前期比 |
| 売上高 | 4,270 | 6,372 | 2,101 | 49.2% |
| 金属加工事業 | 4,166 | 4,629 | 463 | 11.1% |
| ゴム加工事業 | 104 | 1,223 | 1,118 | — |
| 建設事業 | — | 519 | 519 | — |
| セグメント利益 | 949 | 1,228 | 278 | 29.4% |
| 金属加工事業 | 930 | 959 | 29 | 3.1% |
| ゴム加工事業 | 25 | 206 | 180 | 700.1% |
| 建設事業 | △ 6 | 62 | 69 | — |
| 調整額 | △ 347 | △ 312 | 34 | — |
| 営業利益 | 602 | 915 | 313 | 52.1% |

（注）調整額（セグメント利益の合計額と営業利益との差異）は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用

平成29年8月期決算概況（セグメント）

金属加工事業 売上高4,629百万円（前期比11.1%増）

- 新規取引先の開拓、既存取引先のリピートに積極的に取り組むとともに個別案件に対しきめ細かな営業活動を行った結果、売上高は4,629百万円（前期比11.1%増）、セグメント利益は959百万円（同3.1%増）、当連結会計年度末における受注残高は2,585百万円（同21.0%減）。
- 綾目精機株式会社の平成29年6月1日から平成29年7月31日までの2ヶ月間の業績を含む。

ゴム加工事業 売上高1,223百万円（前期は104百万円）

- 九州地方における営業活動の強化や官公庁向けインフラ部材、電力会社向け部材等が堅調に推移したことにより、売上高は1,223百万円（前期は104百万円の売上高）、セグメント利益は206百万円（前期は25百万円のセグメント利益）、当連結会計年度末における受注残高は81百万円（前期比37.2%増）。
- 前連結会計年度においては吾孺ゴム工業株式会社の1ヶ月間の業績を計上し、当連結会計年度においては同社の12ヶ月間の業績を計上。

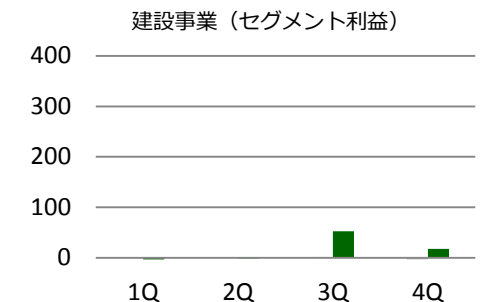
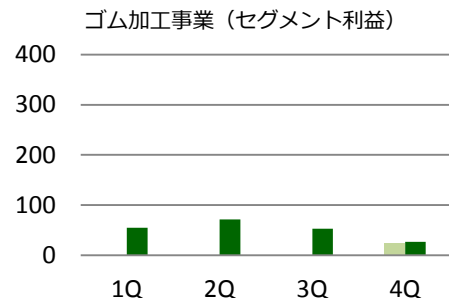
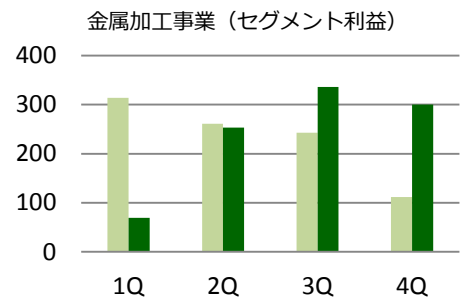
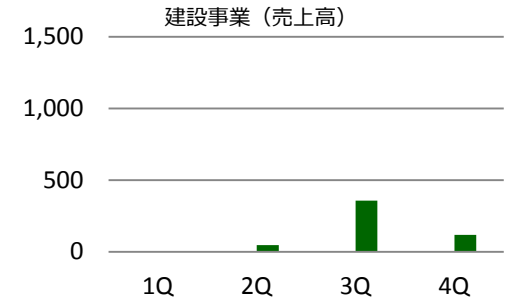
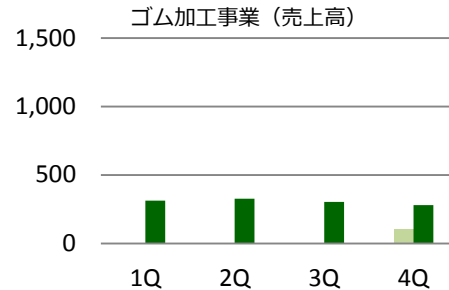
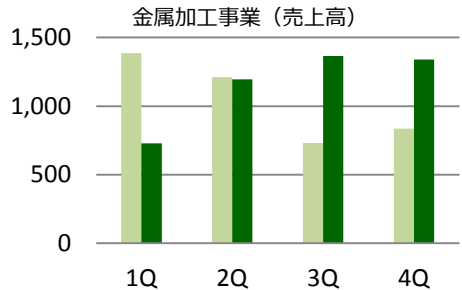
建設事業 売上高519百万円（前期は比較情報なし）

- グループ間の情報連携を図り、材工一括受注を掲げ営業活動に取り組んだ結果、売上高は519百万円、セグメント利益は62百万円（前期は6百万円のセグメント損失）、当連結会計年度末における受注残高は45百万円。

平成29年8月期決算概況（セグメント）

（単位：百万円）

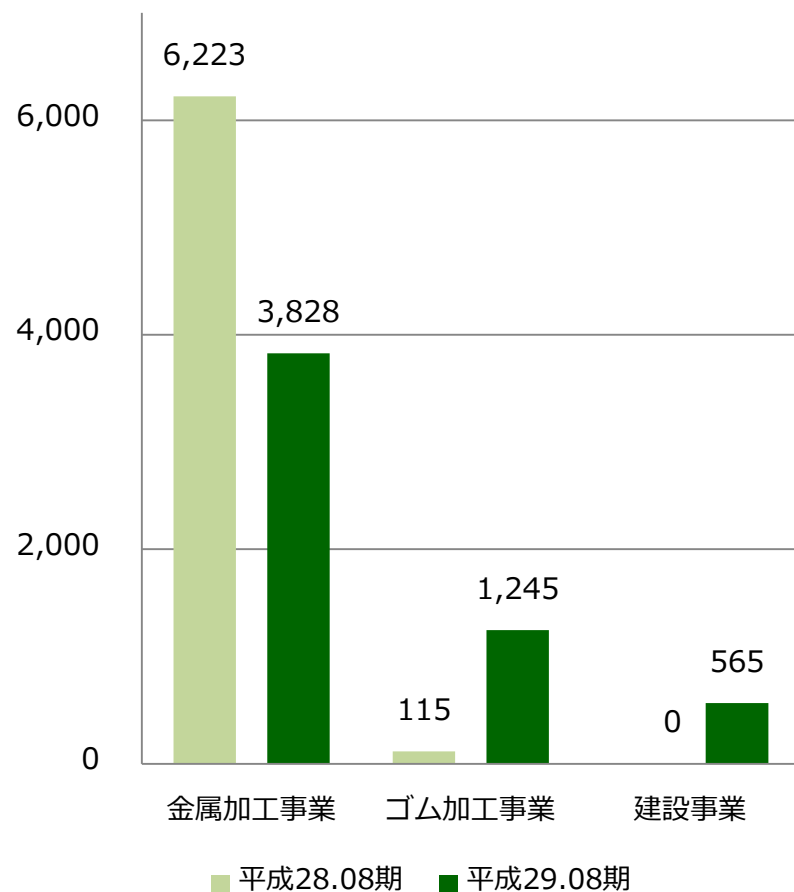
| | 1Q | | 2Q | | 3Q | | 4Q | | 通期 | |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | H28.08期 | H29.08期 | H28.08期 | H29.08期 | H28.08期 | H29.08期 | H28.08期 | H29.08期 | H28.08期 | H29.08期 |
| 売上高 | 1,386 | 1,041 | 1,212 | 1,566 | 732 | 2,026 | 940 | 1,737 | 4,270 | 6,372 |
| 金属加工事業 | 1,386 | 728 | 1,212 | 1,194 | 732 | 1,366 | 836 | 1,339 | 4,166 | 4,629 |
| ゴム加工事業 | － | 312 | － | 326 | － | 302 | 104 | 280 | 104 | 1,223 |
| 建設事業 | － | － | － | 45 | － | 357 | － | 117 | － | 519 |
| セグメント利益 | 314 | 118 | 261 | 323 | 242 | 440 | 132 | 344 | 949 | 1,228 |
| 金属加工事業 | 314 | 69 | 261 | 253 | 243 | 335 | 112 | 300 | 930 | 959 |
| ゴム加工事業 | － | 55 | － | 71 | － | 52 | 25 | 26 | 25 | 206 |
| 建設事業 | － | △ 5 | － | △ 1 | △ 1 | 52 | △ 5 | 17 | △ 6 | 62 |
| 調整額 | － | △ 71 | － | △ 72 | △ 277 | △ 104 | △ 70 | △ 65 | △ 347 | △ 312 |
| 営業利益 | 314 | 47 | 261 | 251 | △ 36 | 336 | 63 | 279 | 602 | 915 |



平成29年8月期決算概況（セグメント）

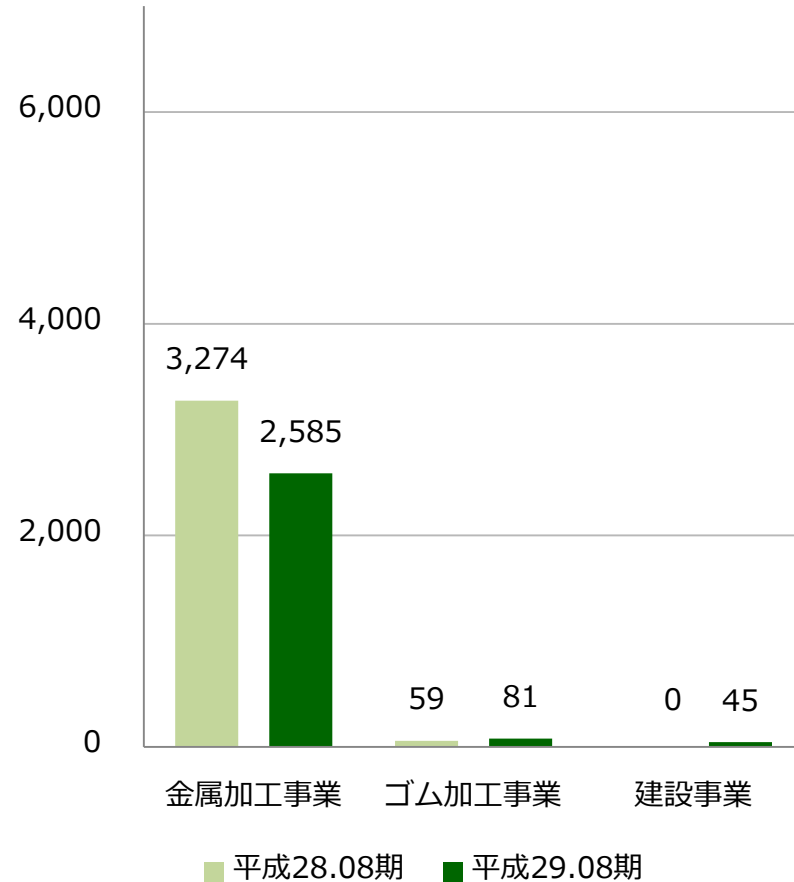
受注高

(百万円)



受注残高

(百万円)



業績見通し（連結）

- (1) 金属加工事業において綾目精機株式会社の業績が通期にわたって寄与することや建設事業の増収等により、売上高7,000百万円（前期比9.8%増）。
- (2) 一部販売価格の低下や材料費の上昇等を見込み、売上総利益1,699百万円（前期比9.2%減）。
- (3) のれん償却は11百万円増加し36百万円となるが、コスト削減に努め営業利益700百万円（前期比23.6%減）。営業利益率は2ケタ維持（10.0%）。
- (4) 当期純利益467百万円（前期比25.2%減）。
- (5) 引き続きM&A戦略を積極的に推進する（M&Aの数値は、計画には含めていない）。

（単位：百万円）

| | 平成29.08期 | 平成30.08期 | | |
|----------|----------|----------|-------|---------|
| | | 計画 | 前期比 | |
| 売上高 | 6,372 | 7,000 | 627 | 9.8% |
| 金属加工事業 | 4,629 | 4,912 | 282 | 6.1% |
| ゴム加工事業 | 1,223 | 1,287 | 63 | 5.2% |
| 建設事業 | 519 | 800 | 280 | 53.9% |
| 売上総利益 | 1,871 | 1,699 | △ 172 | △9.2% |
| （売上総利益率） | （29.4%） | （24.3%） | — | （△5.1P） |
| 営業利益 | 915 | 700 | △ 215 | △23.6% |
| （営業利益率） | （14.4%） | （10.0%） | — | （△4.4P） |
| 経常利益 | 947 | 711 | △ 236 | △24.9% |
| 当期純利益 | 624 | 467 | △ 157 | △25.2% |

太陽光発電設備の認定、稼働、動向

産業部門の太陽光発電設備は、認定79ギガワット、2030年政府政策目標55ギガワットに対し、平成29年3月末現在、28.6ギガワットが稼働中。現状、折り返し地点。

(単位：ギガワット)

| | 認定 | 政府政策目標 | 稼働（注1） | 差引 |
|-----------------|------|--------|--------|------|
| 設備認定（注1） | 78.9 | - | 28.6 | 50.3 |
| 2030年政府政策目標（注2） | - | 55.0 | 28.6 | 26.4 |

（注1）経済産業省資源エネルギー庁（平成29年3月）

（注2）経済産業省資源エネルギー庁「長期エネルギー需給見通し（平成27年7月16日）」

太陽光発電設備案件の中小型案件は順調に消化。市場は大型案件にシフトし、採算性のある案件消化が進展する。

(単位：ギガワット)

| | 10kW以上50kW未満 | 50kW以上1,000kW未満 | 1,000kW以上 |
|----|--------------|-----------------|-----------|
| 認定 | 28.4 | 9.8 | 40.7 |
| 稼働 | 10.8 | 6.5 | 11.3 |
| 差引 | 17.6 | 3.3 | 29.4 |

（注）経済産業省資源エネルギー庁（平成29年3月）

大型案件は、設置工事がスタートするまで、事業主、地権者、行政、電力会社間の調整に時間を要している。

中期経営戦略（平成28年8月期～平成30年8月期）

中期経営戦略

- (1) M & A の推進、アライアンスの推進による事業領域の拡大（事業の多角化）
- (2) 3年間で上限50億円のM & A 及びアライアンスに係る戦略投資枠の設定
～新たなステージへの挑戦 challenge the next stage 創業40周年に向けて～

(1) M & A の推進、アライアンスの推進による事業領域の拡大（事業の多角化）

● M & A の推進、アライアンスの推進により、金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと積極的に事業領域を拡大し、事業の多角化を推進する。

※中計初年度実績：吾孺ゴム工業株式会社（ゴム加工事業）を子会社化

※中計2年目実績：綾目精機株式会社（金属加工事業）を子会社化

(2) 3年間で上限50億円のM & A 及びアライアンスに係る戦略投資枠の設定

● 経営の機動性を高めるため、3年間（平成28年8月期～平成30年8月期）で上限50億円の戦略投資枠を設定。これにより中期経営目標の達成を図り、新たな企業ステージのセカンドステップへつなげる。

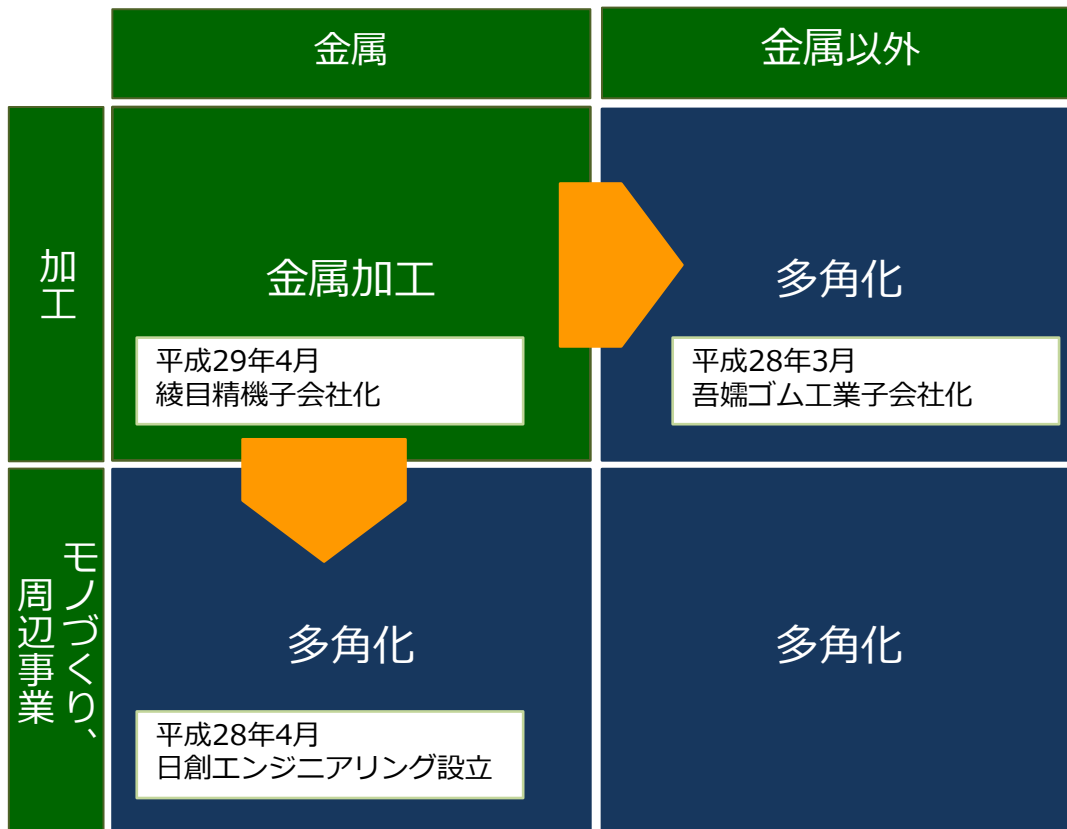
※中計初年度実績：吾孺ゴム工業株式会社（投資額900百万円）

※中計2年目実績：綾目精機株式会社（投資額480百万円）

M & Aの推進方針

M & Aの推進

- (1) 金属加工だけでなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大（事業を多角化）
- (2) 協力・連携体制を醸成し、業績向上と内部統制システムの基盤固め



情報入手先

銀行・証券会社・専業会社等から、M&A情報を入手

検討

シナジー、価格、リスク、条件等を社内プロジェクトチームにて検討

クロージング

基本合意・デューディリジェンス・機関決定・適時開示・最終合意を経てクロージング

PMI

協力・連携体制を醸成し、業績の向上と内部統制システムの基盤固めに全力をあげる。

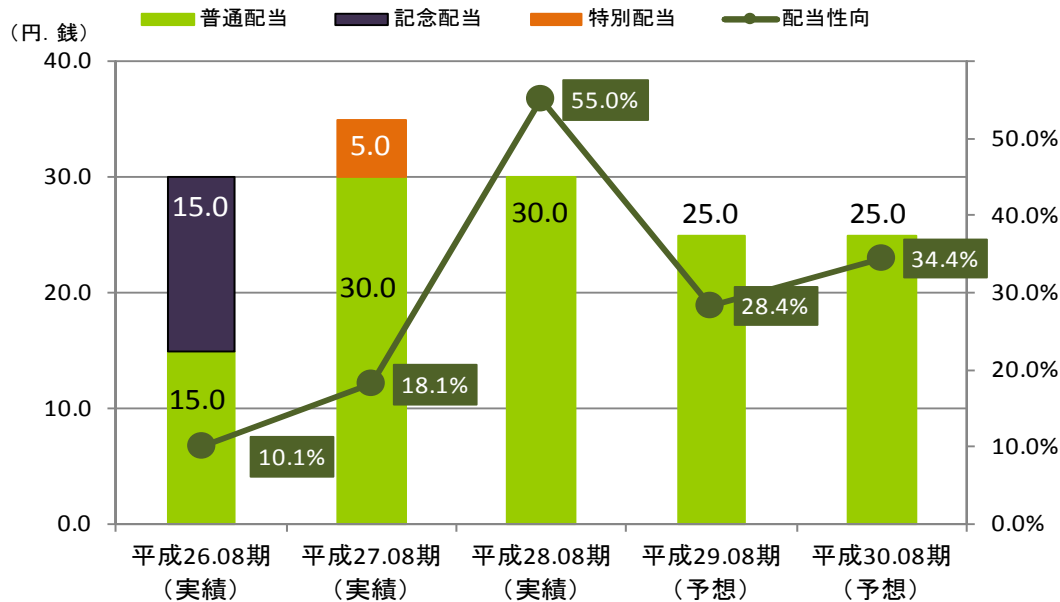
配当方針

配当に関する基本的な考え方

株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識し、今後の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、各事業年度の経営成績を勘案して配当を行う。

(円. 銭)

| | 平成26.08期 (実績) | 平成27.08期 (実績) | 平成28.08期 (実績) | 平成29.08期 (予想) | 平成30.08期 (予想) |
|------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 特別配当 | - | 5.0 | - | - | - |
| 記念配当 | 15.0 | - | - | - | - |
| 普通配当 | 15.0 | 30.0 | 30.0 | 25.0 | 25.0 |
| 計 | 30.0 | 35.0 | 30.0 | 25.0 | 25.0 |
| 配当性向 | 10.1% | 18.1% | 55.0% | 28.4% | 34.4% |



平成29年8月期決算説明会補足資料

会社概要

平成29年8月31日現在

- 商 号 : 日創プロニティ株式会社 (英文表記 : NISSO PRONITY Co., Ltd.)
- 本 社 : 〒815-0035 福岡県福岡市南区向野1-15-29
- 事 業 内 容 : 金属加工事業、ゴム加工事業、建設事業
- 営 業 拠 点 : 本社、東京営業所、大阪営業所、福島営業所
- 製 造 拠 点 : 山田工場 (福岡県嘉麻市)、福島工場 (福島県石川郡)
- 関 連 会 社 : 吾孺ゴム工業株式会社 (群馬県)、日創エンジニアリング株式会社 (東京都)
綾目精機株式会社 (広島県)
- 代 表 者 : 代表取締役社長 石田 徹
- 設 立 : 昭和58年9月
- 資 本 金 : 1,176百万円
- 市 場 区 分 : 福岡証券取引所 (Q - B o a r d) 証券コード : 3440
- 発行済株式数 : 7,360,000株
- 決 算 日 : 8月31日
- 従 業 員 数 : 200名 (連結)



ISO9001

グループ経営理念

日々創造

当社の創業の精神であり社名の由来でもある「日々創造」は、日創グループに所属する私たちの精神的支柱であり、また日々の業務の現実的な指針です。私たちは、短期的な課題に対しても、長期的な課題に対しても、「日々創造」する企業集団であり続けます。

創業の精神



「日々創造」
グループ経営理念



日々の業務
の現実的な
指針

あらゆる課題に



チャレンジ

「日々創造」する企業集団

「日々創造」

グループ経営理念のもと

グループミッション

価値の創造

(社会貢献)

私たちは、金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大し（事業の多角化）、**新たな価値を創造**していくことを通じて、社会に貢献してまいります。

グループビジョン

加工の総合商社

(挑戦)

「加工の総合商社」が私たちの進むべき方向であり、常に追い求める企業グループ像です。私たちは、グループビジョンに向かって、**エンドレスに挑戦**を続けます。

沿革

平成29.04月綾目精機を子会社化 (事業領域を拡大)

平成28.03月吾孺ゴム工業を子会社化 (事業領域を拡大)
 平成28.04月日創エンジニアリング設立

平成26.03月福島工場新設 (東日本の製造拠点)
 平成26.06月福島営業所開設

平成24.07月 FITスタート
 (再生可能エネルギー固定買取制度)

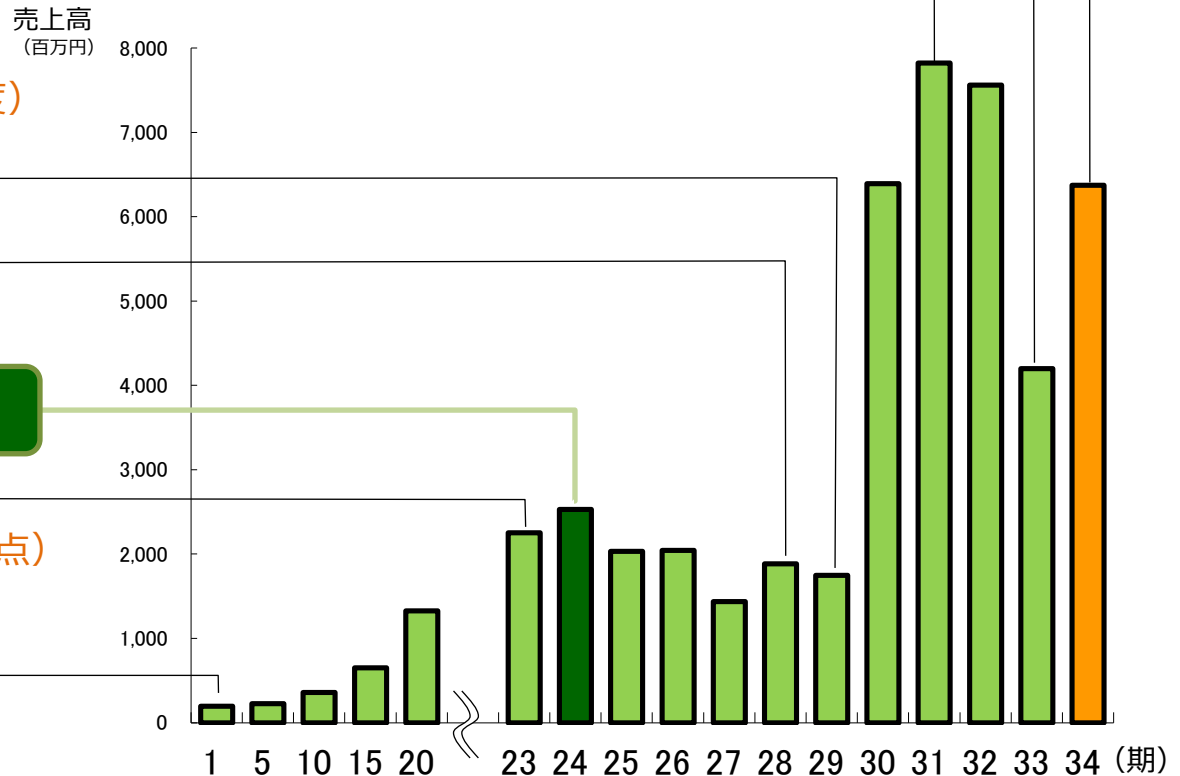
平成23.12月大阪営業所開設

平成23.02月東京営業所開設
 (全国展開スタート)

平成19.08月 福証Q-Board上場

平成19.03月までに山田工場を
 第5工場まで増設 (西日本の製造拠点)

昭和58.09月設立
 山田工場新設



日創プロニティグループの拠点

積極的な全国展開

日創プロニティ株式会社

- 昭和58年9月 設立
- 平成 9年9月 山田工場（現在地に移設）
- 平成23年2月 東京営業所
- 平成23年12月 大阪営業所
- 平成26年3月 福島工場
- 平成26年6月 福島営業所

グループ全体

| | |
|------|------|
| 拠点数 | 10ヶ所 |
| 従業員数 | 200人 |

吾孺ゴム工業株式会社

- 平成28年3月子会社化
- 東京営業所

綾目精機株式会社

平成29年4月子会社化

日創エンジニアリング株式会社

平成28年4月設立

金属加工事業

建築・建材、環境・エネルギー、工場・プラント、駐車場、仮設・プレハブ、半導体、農業、畜産、車輛部品等広範囲な業界に向けて各種金属加工製品を提供。

オーダー加工品 = ユーザーからの多様な個別仕様のオーダーに基づく製品

「オールインワン加工体制」の持つメリットを最大限に活用し、顧客のニーズに対応。主要製品としては、太陽電池アレイ支持架台、太陽光発電システム搭載型カーポート（ソーラーネオポート）、耐火パネル、不燃断熱パネル等の各種金属パネル。



①太陽電池アレイ支持架台



②太陽光発電搭載型カーポート



③レジストウォール（耐火パネル）

企画品 = 一定の規格に基づく 量産可能品

ユーザーに対して提案商品として企画した製品。主要な製品としては、波板・折板等屋根材、壁材等建築用内外装材、各種金属スレートやデッキプレート等。



⑤金属屋根材



④金属壁材

山田工場

企画品

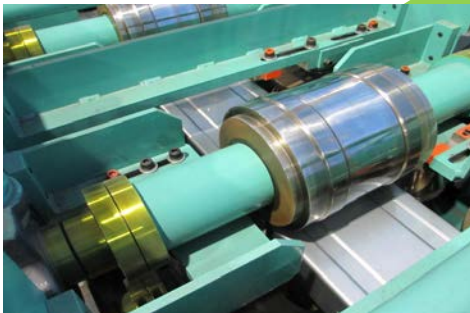
特徴 = 提案商品として企画した製品

第1工場



プレスによる企画品の生産

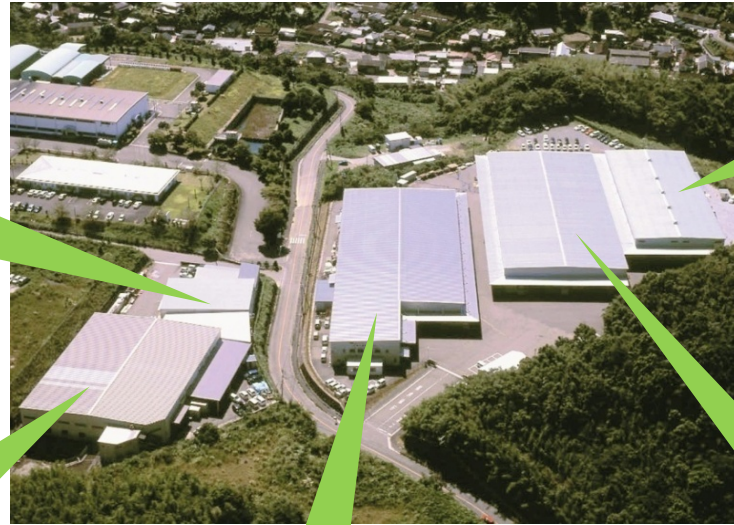
第2工場



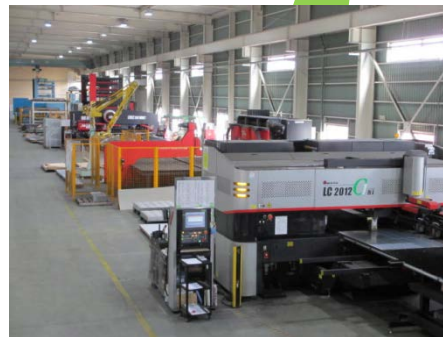
ロールフォーミングによる企画品の生産

敷地面積：35,000m²

プレス・ロールフォーミング・
切断・曲げ・切削・組立・溶接



第3工場



切断・パンチング・
曲げ・パネル加工など
オーダー加工による
特注品の生産

オーダー加工品

特徴 = 多品種なものを
オーダーにより加工

第5工場



切削・組立・溶接など

第4工場



切断・不燃断熱パネルの生産

福島工場

2014年より**東日本のものづくり**を支える

敷地面積：41,418m²



生産設備

- ◆ 太陽電池アレイ支持架台成型ライン ◆ 耐火パネルライン
- ◆ シャーリングマシン ◆ タレットパンチマシン ◆ プレスブレーキマシン
- ◆ レベラーシャーマシン ◆ 各種成型機

最新鋭マシン（ロータリーインデックス搭載レーザー加工機）を導入

型鋼・パイプの高速かつ高精度加工を可能とするロータリーインデックス装置を搭載し、型鋼・パイプの兼用稼働が実現。加工領域の拡大に向けた、新しいオールラウンドマシンです。



設計・加工 ノウハウ

- 基盤産業から成長産業まで多種多様な業界との取引により、設計・加工ノウハウを蓄積
- ノウハウの蓄積が製品企画力・開発力の向上に繋がり、製品差別化に寄与

製品差別化に寄与

加工体制

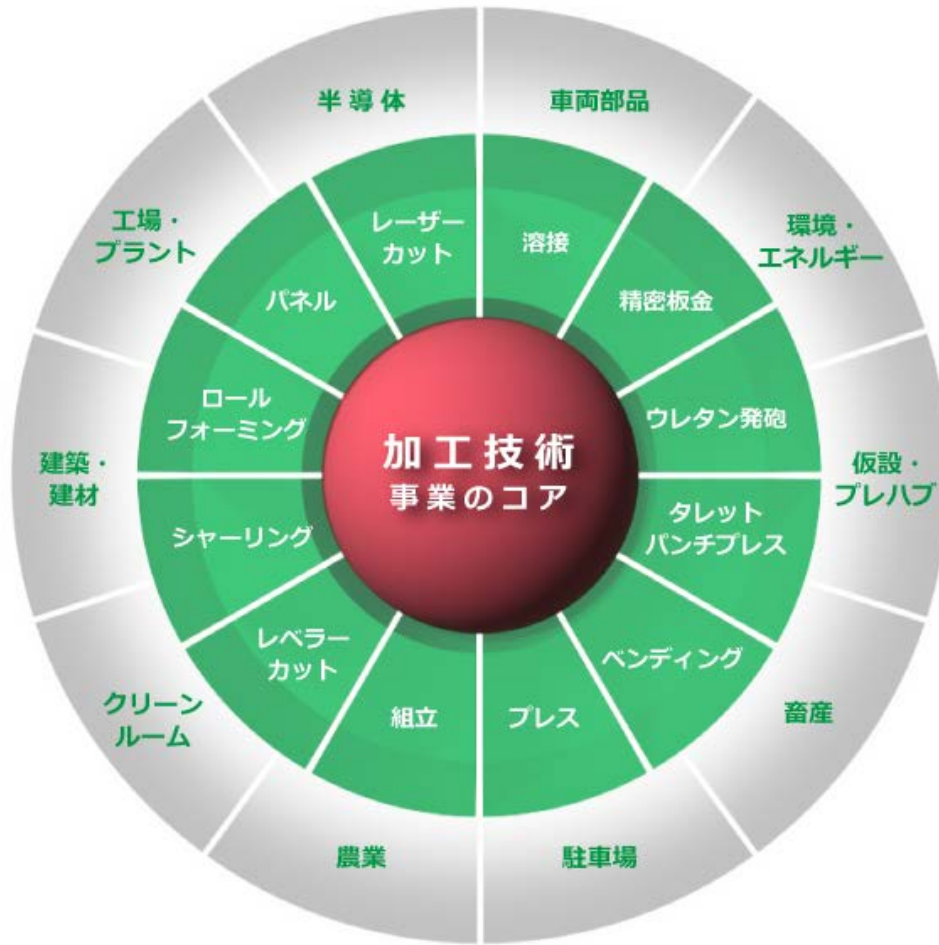
- 材料調達から切断、曲げ、成型、組立等、最終加工まで、加工のサプライ・チェーンを一元化（オールインワン加工体制）
- 材料は鉄鋼商社から仕入れ、仕入価格は鋼材メーカーと交渉
- 最新鋭設備の導入、多種多様な加工技術の保有

低コスト、短納期化に寄与

営業体制 製品開発体制

- 全国の営業拠点（福島、東京、大阪、福岡）
- 設計・加工ノウハウで差別化した提案営業力
- 新製品を生み出す企画力、製品化のスピードの速さ

顧客満足度の向上に寄与



あらゆる加工方法の横展開



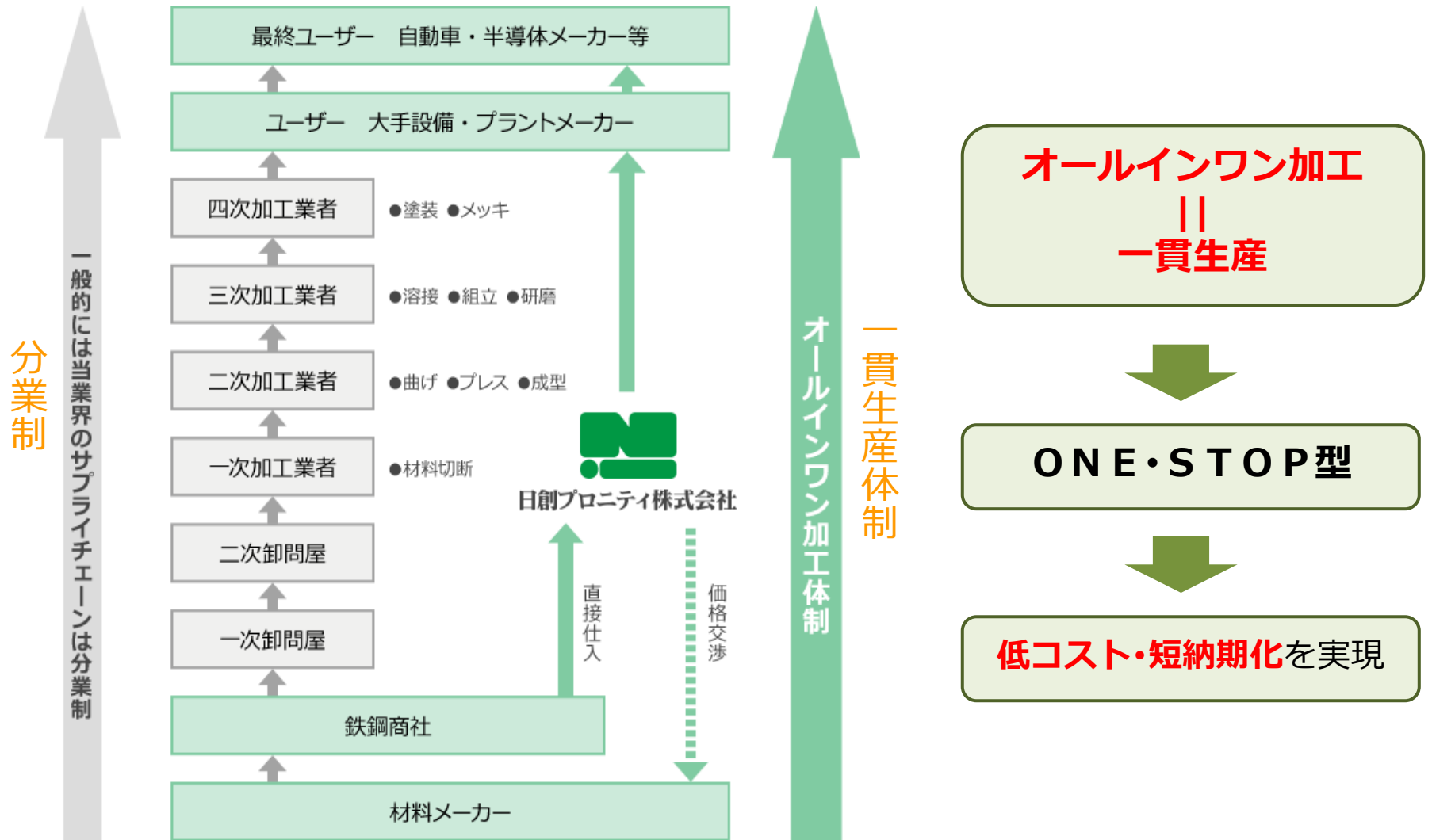
事業のコアは「加工」



変化するニーズをいち早くとらえ、
あらゆるご要望に的確にお応え
できる幅広い加工技術



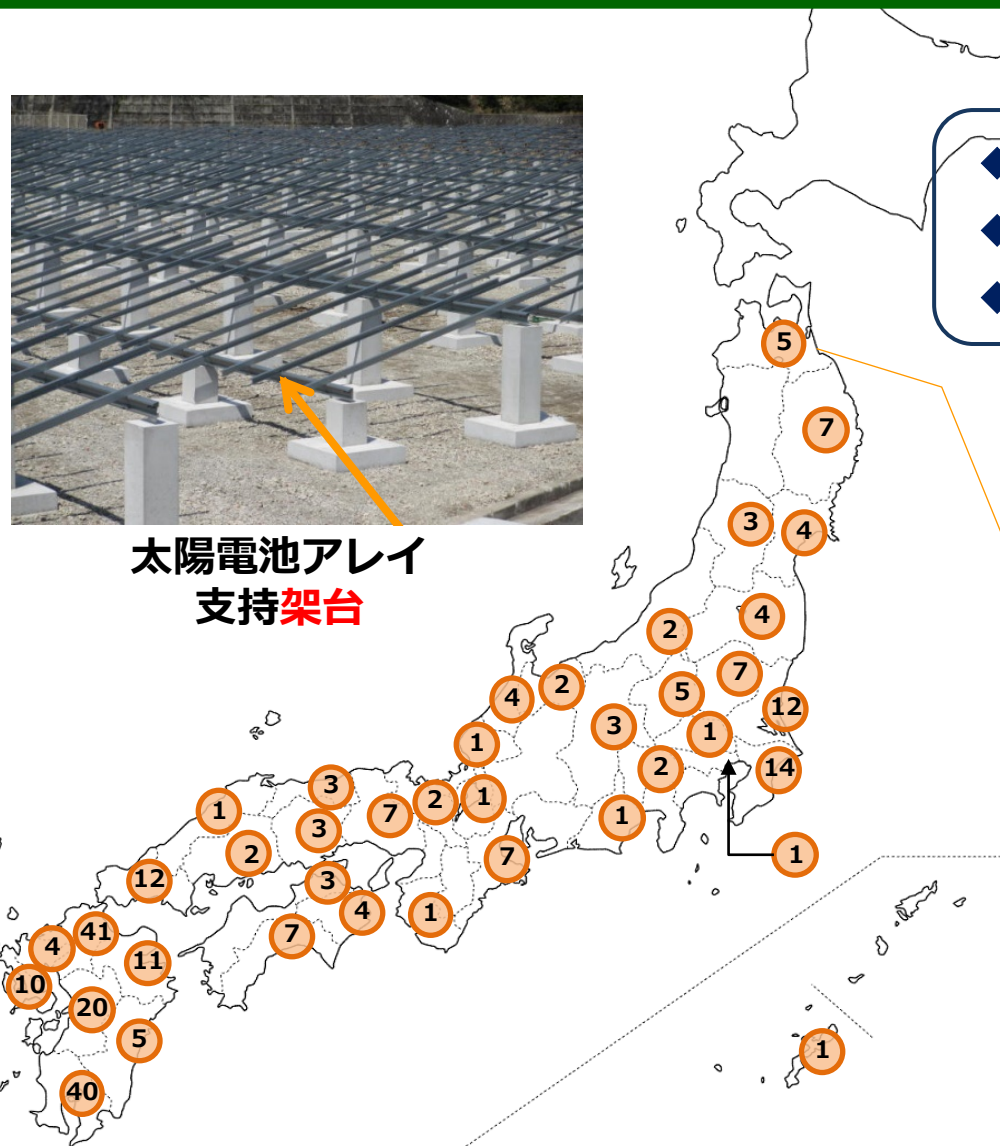
差別化された金属加工に関する
“すべて”をご提供します。



メガソーラー用太陽電池アレイ支持架台の受注実績地図



太陽電池アレイ
支持架台

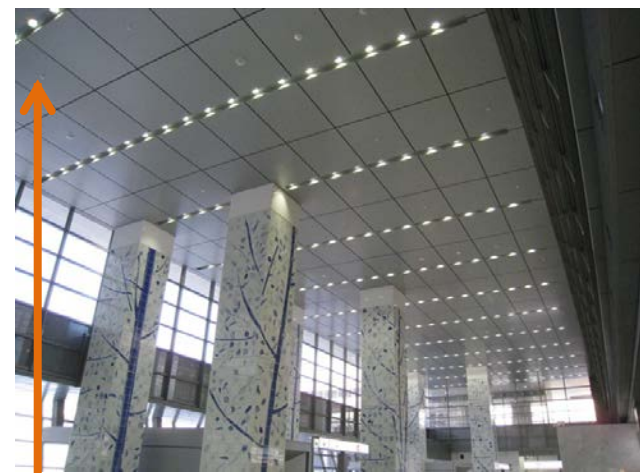


- ◆山田工場、福島工場に大規模な生産ラインを構築
- ◆独自の製品設計により低コストでの生産が可能
- ◆一貫生産による短納期の実現



メガソーラー受注実績 (平成29年8月現在)
262件/966Mw

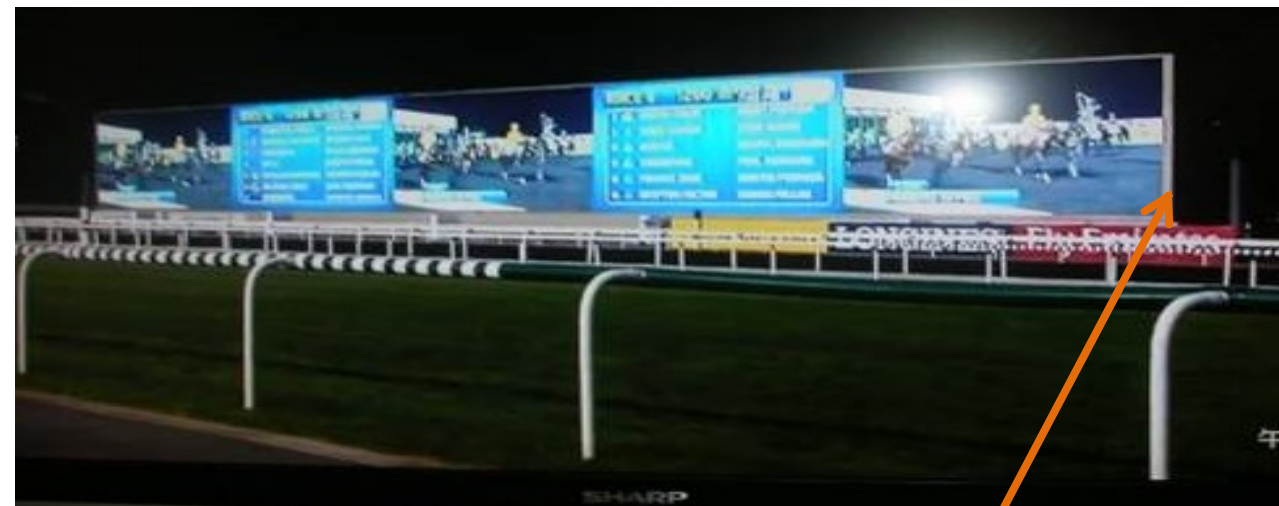
青森県上北六ヶ所村
設置面積は
福岡ドーム 約**21個分**



①天井パネル（内装化粧パネル：JR博多駅）



②シェードウォール（某マンション）



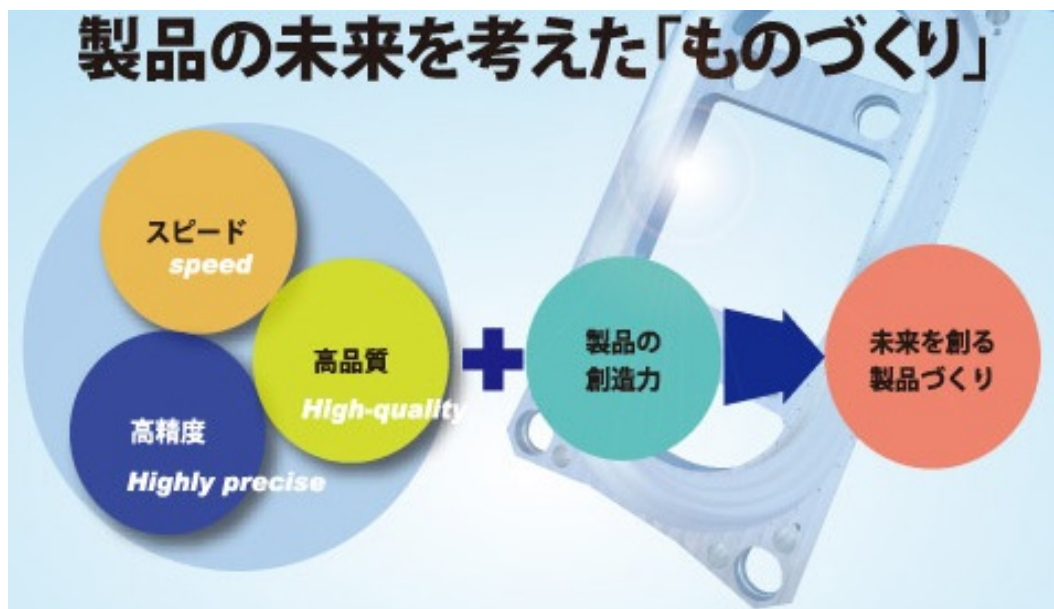
③オーロラビジョン（筐体：ドバイ競馬場）



④シェードウォール（特注）
（ポリスミュージアム：東京銀座）

綾目精機株式会社（2017年4月子会社化） 金属精密切削加工業

産業用機械の部品（大型印刷機・医療機器・航空機等の部品）から農業用機械の部品まで、幅広い分野の多様な受注に対応。素材の調達、切削、焼入れ、メッキ、組立てまで一貫した加工を実現。



本 社 : 広島県府中市
代 表 者 : 代表取締役社長
石田 徹
設 立 : 1988年4月
資 本 金 : 10,000千円
決 算 期 : 7月31日

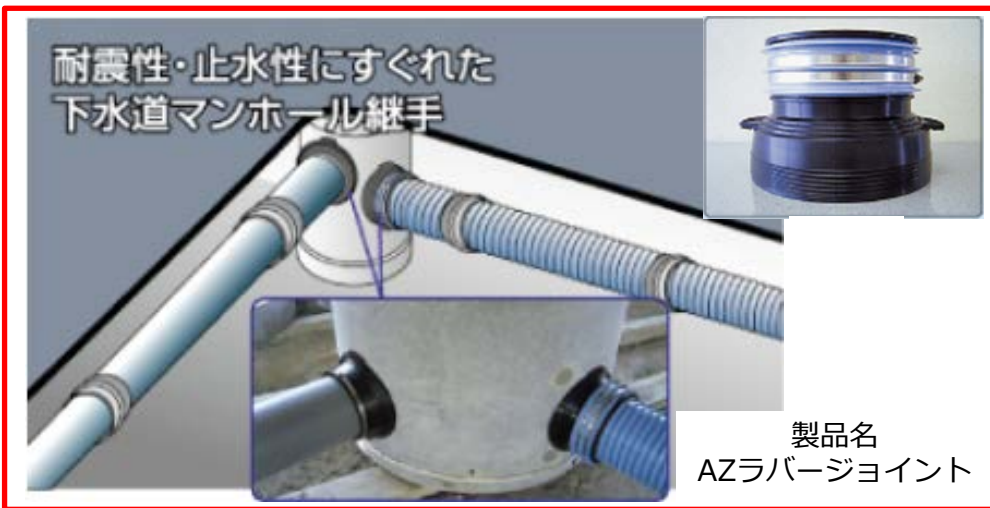
吾孺ゴム工業株式会社（2016年3月子会社化）

原料ゴムからの一貫生産を行うゴムメーカーとして、土木製品、一般工業製品、建築製品、車輛用品、道路用品を製造。

ゴムの加工技術やノウハウに裏付けされた豊富な販売実績を有し、堅調に業績が推移。

| | | |
|-------|---|-----------------|
| 本社・工場 | : | 群馬県藤岡市 |
| 営業拠点 | : | 東京営業所 |
| 代表者 | : | 代表取締役社長 石田 徹 |
| 設立 | : | 1982年7月 |
| 資本金 | : | 20,000千円 |
| 決算期 | : | 6月30日 |

自社製品 平成7年 阪神淡路大震災後に開発



エキスパンションシール
(駅のホーム)



パイプ継手 エルボ
(重機メーカー向け)

強み

- 景気に左右されない事業基盤

日創エンジニアリング株式会社（2016年4月設立）

当社が「太陽電池アレイ支持架台」や「耐火パネル」を供給し、日創エンジニアリングが設置工事を行うことにより「材工一括受注」体制を構築。



本 社 : 東京都台東区
代 表 者 : 代表取締役社長
大里 和生
設 立 : 2016年4月
資 本 金 : 20,000千円
決 算 期 : 8月31日

強み

- 材工一括による低コスト提案

お問い合わせ先・ご注意事項

お問い合わせ
先

日創プロニティ株式会社 経営企画室

TEL: 092-552-3749

<http://www.kakou-nisso.co.jp/>

ir@kakou-nisso.co.jp

<ご注意事項>

本資料に記載されている計画、予測又は見通しなど、将来に関する事項等は、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、将来の業績等を約束するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。